

## 令和4年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

### 1 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 観点別達成率（経年比較）

\*評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

\*目標値に対して △上回っている ≍同程度 ▼下回っている

	第4学年			第5学年			第6学年		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③
令和4年度	≍	≍	≍	△	△	△	≍	△	△
令和3年度				△	△	△	△	△	△
令和2年度							≍	△	≍

#### (2) カテゴリー別の課題

	中学年	高学年
基礎・活用	目標値をわずかに下回っている	目標値を上回っている
領域	生命・地球の領域に課題	生命・地球の領域にやや課題
解答形式	「選択」に課題	「短答」に課題

### 2 昨年度の授業改善推進プランの検証

成果	課題
・タブレットを活用した授業や体験的な学習を行った。その結果、児童の思考が深まった。	・知識の定着に課題がある。

### 3 観点別授業改善のポイント

中学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物を見たり、触ったりできる機会を増やす。また、実物を見るのが難しい場合は、ICT 機器やインターネットを用いて映像資料等を活用する。</li> <li>・学習した内容を説明したり活用したりする場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を基に、予想や仮説を立ててから観察、実験を行い、観察記録や実験データを表に整理したり、グラフに表したりして、科学的な言葉を用いて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって取り組めるように、授業の流れを提示する。</li> <li>・既習の内容や予習で得た情報について、実際に実験や観察を行い確かめようとする態度を育てる。</li> </ul>
高学年		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物を見たり、触ったりできる機会を増やす。実物を見るのが難しい場合は、ICT 機器やインターネットを用いて映像資料等を活用する。</li> <li>・学習した内容を説明したり活用したりする場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の方法を考えさせてから観察、実験を行い、観察や記録、実験データを表に整理したり、グラフに処理したりして、科学的な言葉を用いて考えさせる。</li> <li>・観察、実験の結果を説明する場面を設定したり、予想と結果の妥当性を考えさせたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の内容や予習で得た情報について、実際に実験や観察を行い確かめようとする態度を育てる。</li> <li>・既習の内容を基に、探究的な活動や協働的な活動を設定し主体的に取り組む態度を育てる。</li> </ul>